多摩の地域のタウン紙 asacoco 読者企画

秩父（困民党）事件を訪ねる

130 年前の秩父に、自由と平等の社会を求めて、命がけで立ち上がった凄い人々がいた！

昨年秋は「足尾鉱毒事件」を旅してきました。今回の２回目は「秩父困民党事件」です。

秩父事件とは、1884（明治 17）年 10 月 31 日～11 月 9 日にかけて、当時の大蔵卿の松方正義のデフレ政策と、軍備拡張のための増税、世界恐慌による生糸輸出の激減という状況下に、埼玉・長野・群馬の農民、民衆数千人が、政府に対して起こした武装蜂起事件のことです。この三重苦により養蚕の盛んであった秩父地方の多くの農民は、生糸市場の暴落と増税で困窮を極め、銀行や高利貸がその窮状につけこむという悲惨なものとなりました。明治政府は、憲法制定や国会開催を進める一方、急進的民権家の政府転覆論を口実にして地域の民権家や民権運動に対する弾圧を行ない、各地でそれに対抗する対立が起きました。

秩父でも自由民権運動の自由党員らが「困民党」を組織し、決起集会を開き蜂起を開始。明治政府は、警官隊、憲兵隊、鎮台隊を送り込み困民党の崩壊、鎮圧をはかり、参加者を次々逮捕、裁判で死刑、無期徒刑、懲役刑を科し、この事件参加者は「暴徒」として断罪されました。

私達は、日本の民主主義の源流である自由民権運動と、「秩父事件」を闘った農民や民衆のエネルギーとその志について顕彰し、蜂起現場の秩父吉田町を訪ね、学んできたいと思います。

←困民党集結地
椋神社

井上伝蔵邸跡↓

日　程　***2016*（平成 *28*）年 3 月 *24* 日（木曜日）**
参加費　￥11,000（バス代・昼食代・入館料・傷害保険他）
定　員　４０名(最少催行２０名)
集合場所　京王線 高幡不動（セブンイレブン前）
　　JR 中央線 国立駅南口（白十字前）
集合時間　06：20 高幡不動駅　6:40 国立駅南口
指　導　篠田健一氏（秩父事件研究顕彰協議会会長）
　　楢崎茂彌氏（立川市史編さん委員会副委員長）

＜行　程＞

高幡不動駅＝＝国立駅南口＝＝国立府中 IC=入間 IC＝あしがくぼ道の駅＝龍勢会館＝秩父事件資料館……	中央道 圏央道　休憩 06:30　6:50　9:00　10:00
井上伝蔵邸・清泉寺＝＝窪田巡査記念碑＝＝椋神社＝＝龍勢茶屋＝＝井上伝蔵墓＝飯塚森蔵墓＝＝音楽寺	見学・案内　困民党集結地　昼食　大宮郷突入の鐘 10:30　11:20　11:30　12:00　12:30～13:10　14:30　15:30
＝秩父神社＝＝入間 IC＝＝国立駅南口＝＝高幡不動駅着（解散）18:30 の予定	集結地

企 画 主 催：多摩地域のタウン紙「asacoco」
〒186-0004　国立市中 1-9-4-407　TEL042-505-6904　FAX042-505-6905
手配旅行社：(株) NK トラベル　〒191-0052 日野市東豊田 3-5-6　TEL０４２-５８４-２２１０
全国旅行業協会会員　東京都知事登録 2-4544

「秩父事件」日帰りの旅　申込書（FAX：042-505-6904）※アサココへ電話か FAX でお申込下さい。

氏　　名	〒	住　　所	電　話	生年月日